

スコアシート			重点評価項目：W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理								
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質・性能									2.7		
Q-1 室内環境							0.40		3.0		
1 音環境							1.8	0.15	2.3	1.00	2.1
1.1 騒音							1.0	0.40	1.0	0.29	
1 1 暗騒音レベル							1.0	1.00	1.0	1.00	
2 設備騒音対策											
1.2 遮音							3.0	0.40	3.6	0.50	
1 1 開口部遮音性能						AW+PWでT-2以上相当の建具を使用している。	3.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能									3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									3.0	0.20	
1.3 吸音							1.0	0.20	1.0	0.21	
2 温熱環境							1.0	0.35	3.8	1.00	3.1
2.1 室温制御							1.0	1.00	3.8	1.00	
1 室温設定							-	-	3.0	0.60	
2 輻射寒熱・遠隔制御性											
3 外皮性能				W		日本住宅性能評価基準の省エネルギー対策等級4を満たしている。	1.0	1.00	5.0	0.40	
4 ゾーン別制御性											
5 湿度・湿度制御											
6 個別制御											
7 時間外空調に対する配慮											
8 監視システム											
2.2 湿度制御							-	-	-	-	
2.3 空調方式							-	-	-	-	
3 光・視環境							2.4	0.25	3.8	1.00	3.5
3.1 昼光利用							4.2	0.30	4.6	0.50	
1 昼光率						開口部を大きくし、昼光を確保している。	5.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口						南、東の両面に窓を設けている。			5.0	0.30	
3 昼光利用設備				W			3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策							1.0	0.30	3.0	0.50	
1 照明器具のグレア											
2 昼光制御				W			1.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度							1.0	0.15	-	-	
1 照度							1.0	1.00			
2 照度均斉度											
3.4 照明制御							3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境							2.6	0.25	2.8	1.00	2.8
4.1 発生源対策							3.0	0.60	3.0	0.63	
1 化学物質汚染							3.0	1.00	3.0	1.00	
2 アスベスト対策											
3 タバコ対策											
4 レンガ対策											
4.2 換気							2.0	0.40	2.6	0.38	
1 換気量							3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能						開口部を大きくして、開閉可能な窓を十分確保している。			4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮							1.0	0.50	1.0	0.33	
4 給気計画											
4.3 運用管理											
1 CO ₂ の監視											
2 喫煙の制御											
Q-2 サービス性能							-	0.30	-	-	3.0
1 機能性							2.2	0.40	3.2	1.00	2.9
1.1 機能性・使いやすさ							3.0	0.60	4.0	0.60	
1 広さ・収納性						各住戸に100Mbpsの光ファイバー回線を整備している。					
2 高度情報通信設備対応									4.0	1.00	
3 バリアフリー計画							3.0	1.00			
1.2 心理性・快適性							1.0	0.40	2.0	0.40	
1 広さ感・景観									3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース											
3 内装計画							1.0	1.00	1.0	0.50	
2 耐用性・信頼性							2.8	0.31	-	-	2.8
2.1 耐震・免震							3.0	0.48			
1 耐震性							3.0	0.80			
2 免震・制振性能							3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数							2.8	0.33			
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔				W		耐用年数25年以上の仕上材を使用している。	4.0	0.29			
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				W			2.0	0.12			
3 配管・配線材の更新必要間隔				W			3.0	0.29			
4 主要設備機器の更新必要間隔				W			2.0	0.29			
2.3 適切な更新											
1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新											
2 配管・配線材の更新											
3 主要設備機器の更新											
2.4 信頼性							2.6	0.19			
1 空調・換気設備							3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備							3.0	0.20			
3 電気設備							3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法							1.0	0.20			
5 通信・情報設備							3.0	0.20			

スコアシート				重点評価項目：W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理						
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
3 対応性・更新性					2.6	0.29	3.3	1.00	3.1	
3.1 空間のゆとり				階高2900mm以上。	-	-	3.6	0.50		
1 階高のゆとり					-	-	4.0	0.60		
2 空間の形状・自由さ					-	-	3.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり					-	-	3.0	0.50		
3.3 設備の更新性					2.6	1.00	-	-		
1 空調配管の更新性				2.0	0.17	-	-			
2 給排水管の更新性				2.0	0.17	-	-			
3 電気配線の更新性				3.0	0.11	-	-			
4 通信配線の更新性				3.0	0.11	-	-			
5 設備機器の更新性				3.0	0.22	-	-			
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.22	-	-			
Q-3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	2.0	
1 生物環境の保全と創出		G			2.0	0.40	-	-	2.0	
2 まちなみ・景観への配慮		G			2.0	0.20	-	-	2.0	
3 地域性・アメニティへの配慮					2.0	0.40	-	-	2.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S		2.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G			2.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性									3.3	
LR-1 エネルギー					-	0.40	-	-	4.5	
1 建物の熱負荷抑制	W			日本住宅性能評定基準の省エネルギー対策等級4を満たしている。	5.0	0.40	-	-	5.0	
2 自然エネルギー利用					2.5	0.20	-	-	2.5	
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				2.0	0.50	-	-		
2.2 自然エネルギーの変換利用	W		S		3.0	0.50	-	-		
3 設備システムの高効率化	W			潜熱回収型の給湯設備を使用している。	5.0	0.40	-	-	5.0	
4 効率的運用					-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング	W				-	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制	W				-	-	-	-	-	
LR-2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	2.8	
1 水資源保護					3.0	0.15	-	-	3.0	
1.1 節水	W				3.0	0.60	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水再利用					3.0	0.40	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67	-	-		
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33	-	-		
2 低環境負荷材					2.8	0.85	-	-	2.8	
2.1 資源の再利用効率					2.3	0.35	-	-		
1 躯体材料の再利用効率	W				3.0	0.67	-	-		
2 非構造材料の再利用効率	W				1.0	0.33	-	-		
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W				2.0	0.04	-	-		
2.3 有害物質を含まない材料					3.0	0.08	-	-		
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				3.0	0.18	-	-		
2.5 部材の再利用可能性	W				3.0	0.18	-	-		
2.6 フロン・ハロンの回避					3.5	0.18	-	-		
1 消火剤	W			ハロン消火剤を一切使用していない。	4.0	0.50	-	-		
2 断熱材	W				3.0	0.50	-	-		
3 冷媒	W				-	-	-	-		
LR-3 敷地外環境					-	0.30	-	-	2.4	
1 大気汚染防止	W				3.0	0.10	-	-	3.0	
2 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.05	-	-	3.0	
2.1 騒音					3.0	1.00	-	-		
2.2 振動					-	-	-	-		
2.3 悪臭					-	-	-	-		
3 風害、日照障害の抑制					1.6	0.10	-	-	1.6	
3.1 風害の抑制					1.0	0.70	-	-		
3.2 日照障害の抑制					3.0	0.30	-	-		
4 光害の抑制				「光害対策ガイドライン」のチェックリスト項目の過半を満たしている。	5.0	0.05	-	-	5.0	
5 温熱環境悪化の改善	W	G	S		1.0	0.30	-	-	1.0	
6 地域インフラへの負荷抑制					3.3	0.40	-	-	3.3	
6.1 雨水処理負荷抑制	W				3.0	0.30	-	-		
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10	-	-		
6.3 交通負荷抑制				十分な駐車スペースを確保している。	4.0	0.30	-	-		
6.4 廃棄物処理負荷	W		S		3.0	0.30	-	-		

■ LR-1 用途別得点表		集合住宅	—	—	—	面積按分 総合スコア
1 建物の熱負荷抑制		8,210 m2	—	—	—	5.0
3 設備システムの	ERRIによる評価	5.0	—	—	—	5
高効率化	個別設備による評価	5.0	—	—	—	
3.1 空調設備		—	—	—	—	—
3.2 換気設備		—	—	—	—	—
3.3 照明設備		5.0	—	—	—	—
3.4 給湯設備		5.0	—	—	—	—
3.5 昇降機設備		3.0	—	—	—	—